

2025 明治安田 J2リーグ 第 37 節 vs ベガルタ仙台

ビジター観戦者調査報告

秋田商工会議所とブラウブリッツ秋田では、ビジター観戦者の地域経済への波及効果を把握することを目的とした「ビジター観戦者経済効果調査」を行った。
本調査は、現在進められている新スタジアム整備に関する議論の参考資料とすることを目的に行うものであり、アウェイトーリズムによる地域活性化の可能性を明らかにすることを目指している。

■対象試合

11 月 23 日(日)14 時キックオフ

2025 明治安田 J2 リーグ 第 37 節 クリーン・テクノロジー Presents ブラウブリッツ秋田 vs ベガルタ仙台
(会場:ソユースタジアム)

■調査主催

秋田商工会議所／株式会社ブラウブリッツ秋田

■調査対象

ベガルタ仙台 ファン・サポーター

■調査方法

試合当日、会場内および周辺に掲示される QR コードを読み取り、Google フォームにて回答。
なお、ビジターゴール裏自由席ゲートなどでは、QR コードを記載したチラシも配布した。

■調査項目

- 性別
- 年齢
- 移動手段
- 滞在期間
- 試合観戦以外の予定(観光など具体的にどこにいったか?)
- 一人当たりの予算
- 秋田に来たのは何回目ですか?
- 秋田では現在新スタジアム整備に向けた議論がされています。あなたにとって、ユアテックスタジアムとはどんな役割を果たしていますか?

■回答数

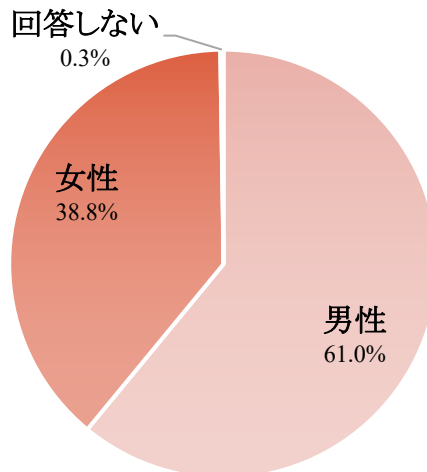
1194 件

※来場ベガルタ仙台サポーター約 5,000 人のうち 1,194 人(約 24%)から回答を得ており、95%信頼水準で許容誤差は概ね $\pm 2 \sim 3\%$ ポイントの水準となります。

ビジター観戦者調査報告詳細

■性別

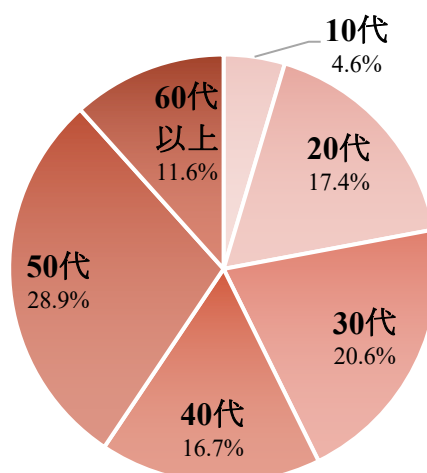
性別の傾向は、Jリーグが行っている観戦調査と大きく変わらない。



■年齢

Jリーグが行っている観戦調査よりも20代～30代が多く、SNSでの情報発信による二次的効果が期待できる。

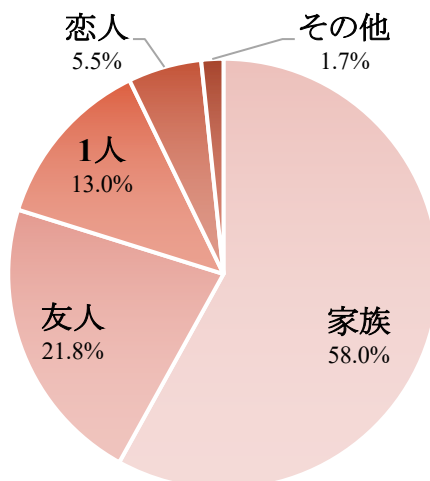
Jリーグのサポーターは遠征時に、各種SNS(主にX)で共通のハッシュタグ(#〇〇サポ秋田遠征)を用いて投稿する文化があり、今回も「ベガサポ秋田遠征・仙台サポ秋田遠征」を用いて秋田の観光やグルメ・文化に関する投稿が多く見られる。



■同行者種別

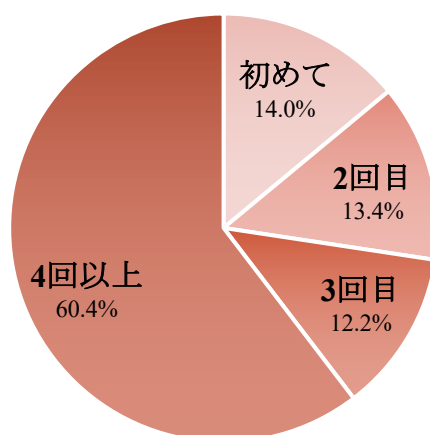
回答者の半数以上が家族連れであり、友人との来場を合わせると8割近い。

「1人」での観戦者も1割以上いるものの、スタジアム観戦がレジャーとして家族や友人と楽しまれていると推察される。



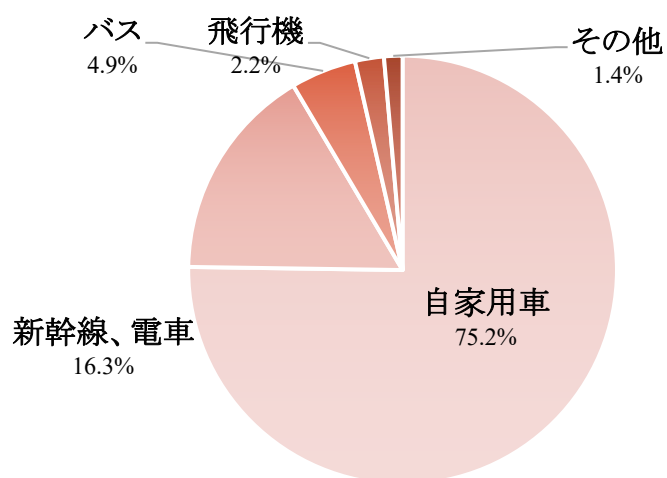
■来県回数

6割以上が「4回以上」の訪問経験を持つリピーターであり、ブラウブリッツ秋田の試合観戦が秋田訪問の重要な動機付けになっている。一方で、新規訪問者(初めて)も14.0%存在。



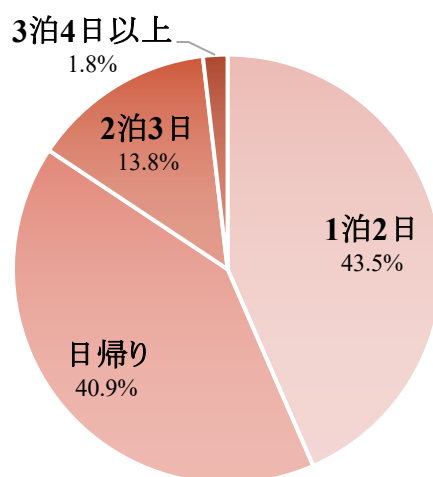
■移動手段

近県ということもあり、自家用車が7割以上と圧倒的な結果となった。
地方都市ならではの傾向とも言える。



■秋田県での滞在日数

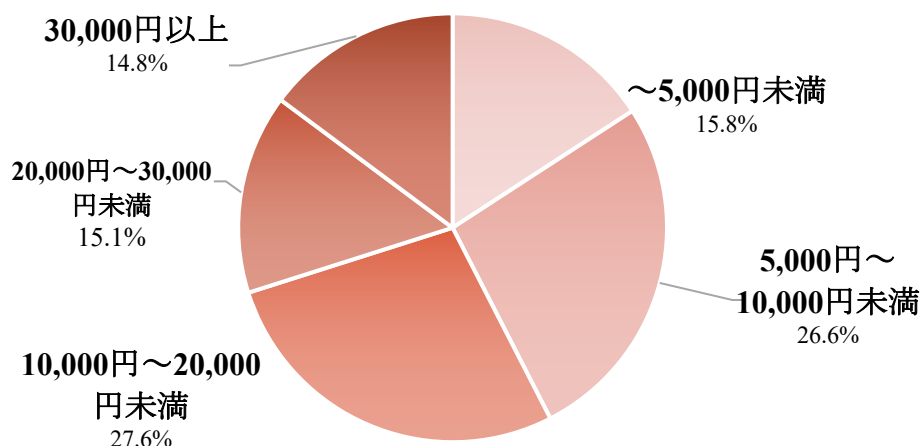
日帰り圏内ではあるが、約6割が宿泊しており、日帰り客の割合を大きく上回っている。
また、開催日が3連休の中日にあたったことで、2泊3日や3泊4日以上と比較的長い日程で滞在する層も一定数確認された。



■一人当たりの予算

「5,000 円～20,000 円未満」で過半数(54.2%)を占める層が中心。

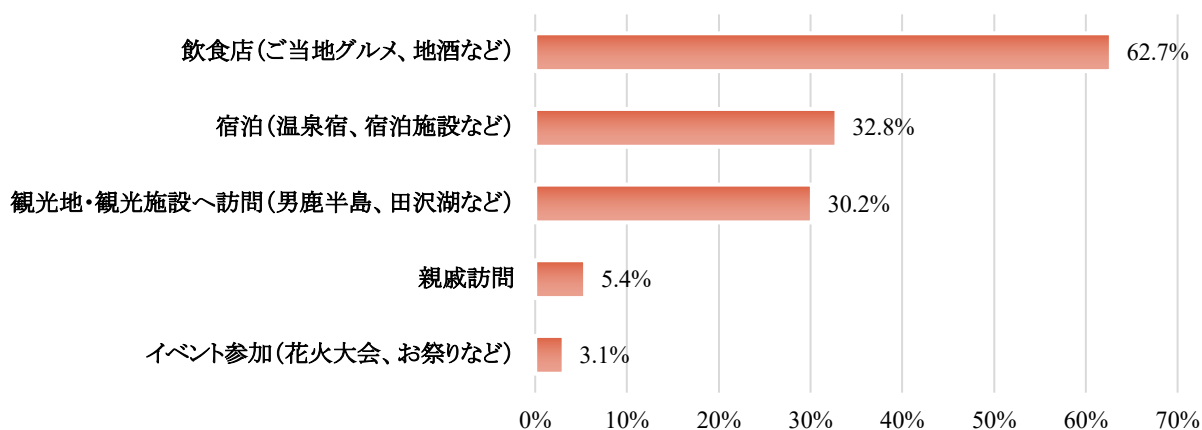
一方、「30,000 円以上」の回答も 14.8%あり、高額な消費をする層も一定数存在している。



■試合観戦以外の予定

試合観戦以外では、「飲食店(ご当地グルメ、地酒など)」が 6 割以上と圧倒的な関心を集めている。

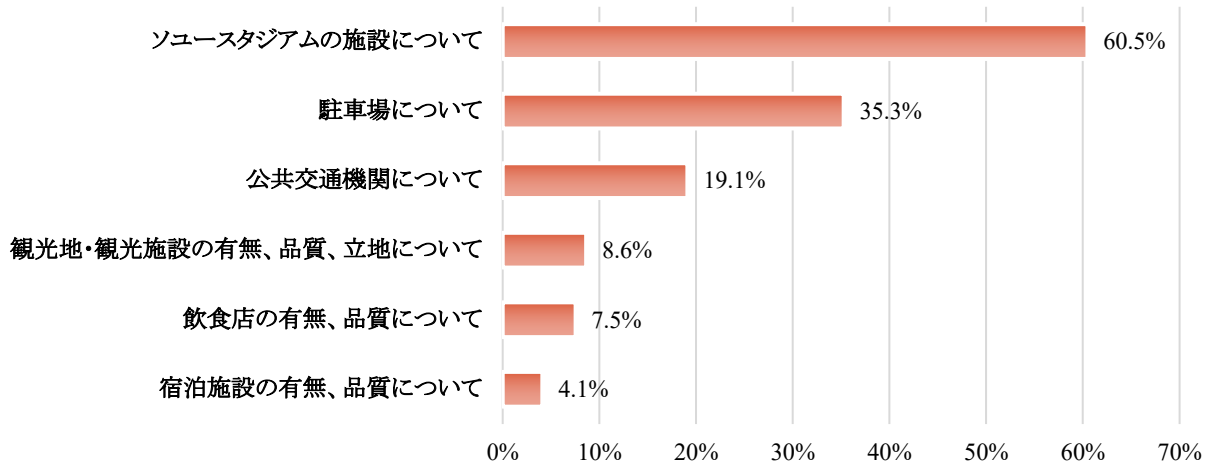
また、「宿泊」や「観光地・観光施設へ訪問」も 3 割前後あり、試合観戦をきっかけとした地域経済への波及効果が期待できる。



■秋田県内で不便に感じたことについて

ビジターが最も不便に感じた点は、「ソユースタジアムの施設について」(60.5%)と「駐車場について」(35.3%)に集中。

スタジアム自体の課題(老朽化、陸上競技場特有の見づらさ、トイレなど)と、自家用車利用の多さに起因する周辺インフラの課題と言える。



■(ベガルタ仙台のホームスタジアムの)ユアテックスタジアムは皆様にとって、どのような存在ですか？ ※寄せられた回答から一部を抜粋

- ・ ホーム、家、憩いの場、心の拠り所
- ・ 聖地、要塞
- ・ 劇場
- ・ 街の象徴、シンボル
- ・ ワクワクする場所
- ・ 仲間が集まる場所
- ・ 日常、なくてはならない場所
- ・ 人生そのもの、生きがい
- ・ かけがえのない存在
- ・ なくてはならない存在
- ・ 街とサポーターが一つになれる場所
- ・ 誇り
- ・ 生活の一部
- ・ アクセスが良く、屋根もあり観戦に最適な場所
- ・ ただ見るだけで涙ぐみ、心が熱くなるそのくらい好き、30年サポーターやっていると人生の一部、大切な思い出が詰まった場所、これからもずっと共に生きていく
- ・ 同じ思いを持った人が集い喜怒哀楽・一喜一憂し空間が一体になる。
これに惹かれまた老若男女問わず人が集まる。

最高の場所。

生活の一部。

かけがえのない場所。

- ・ あらゆる立場・世代を超えて、郷土愛とシビックプライド、「好き」を共有して繋がれる場所。アイデンティティを再確認する場所。
- ・ スタジアムで生まれた思い出や記憶を通じて、宮城県で生きていくことを決定づけた理由の1つ。
- ・ 「家」。仙台の象徴、誇り。今は仙台から離れて住んでいるが、今でも自分と出身地を繋いでくれる場所。まわりを気にせず叫べる場所。ここに来れば誰かと会えるという場所。
- ・ 1週間頑張ろう、週末ユアスタ(試合)行こうと頑張る源をもらえる、集える場所。
- ・ 20年前、初めて訪れた時の胸が高鳴る強烈な記憶は今も忘れられません。

ある程度の年齢が過ぎ、ただ生活が過ぎていく日々でしたが、子供を連れてまた来れるようになり、勝っても負けても毎週ワクワクをくれる場所です。

一生懸命な選手たちに感情を左右され(笑)、こちらまで一生懸命応援させてもらい、心揺さぶる姿を見て子供も泣き笑いしています。

そんな景色をくれるユアスタは、本当に自慢で誇りに思える、宮城に、仙台に、自分にとってなくてはならない存在です。

- ・ どんなことがあっても帰りたいと思う場所。感情が揺さぶられる場所。
スタジアムに行けば元気も感動ももらえる、自分にとっては唯一無二の場所です。
- ・ ベガルタがある限り地球の裏側にあっても通う場所

埼玉県在住だがユアスタ(ベガルタ)があるから仙台に年間10回以上訪問しその都度お金もたくさん使っている

秋田県出身者なので率直に記載させて頂くが現状秋田県にいくら魅力があろうとそもそも秋田に来てもらうきっかけがない

首都圏在住の目線から言えば首都圏はどこへ行くにもアクセスが良く単純な観光やイベント目的ではわざわざ秋田県を選ぶ人は少ない

実際関東地方で秋田県出身だと話すと東北では仙台以北に行った事がないという人はとても多く感じる

アウェイの目線では今日のベガルタサポーターを見てもえれば分かると思うがサッカーのサポーターは選手達と一緒に闘うためにどこまででも駆けつける

ホームの目線では自分は仮にユアスタ(ベガルタ)が秋田にあるなら少なくとも秋田へ年間10回以上は訪問する

ベガルタには関西や九州等もっと遠くから通っている人もたくさんいる

秋田もそんなサポーターを増やすためには初めて来てくれた人が満足してくれるようなスタジアムが必要ではないか？

申し訳ないが現状の八橋では数あるアウェイの試合で秋田戦を選ぶ人は少ないと思うスタジアムの満足度は低い

ホーム側についても現状いくら集客をしてもリピーターになってもらえる確率はユアスタと比べてかなり低いと思う

まずは一度秋田に来てもらうためのきっかけとしてサッカーは他のプロスポーツやイベントと比較してとても大きな力を持っている事、サポーターはどこに住んでいても何を差し置いても愛するクラブのため

なら駆けつける事をぜひもっとアピールして欲しい
秋田県から離れた自分が言う事ではないのかもしれないが
いつか秋田県出身だと話をした時にブラウブリッツのある秋田県
立派なスタジアムができた秋田県
そんな会話ができるような秋田の新スタジアムに期待している
頑張れ秋田！

- ・ ユアスタの最高の立地、観戦環境があったからこそ、ベガルタの試合に行くようになり、サポーターになり、かれこれ 26 年。

歓喜も、涙も、ともに過ごしてきました。まさに聖地です。

最近仙台市のチーム保有について、色々な意見が出ていますが、仙台スタジアムを作り、ベガルタ仙台のホームスタジアムにした仙台市に対しては本当に感謝しています。

- ・ ユアスタは自分に非日常の経験をもたらしてくれる「宝物」です。足を踏み入れ、スタジアム内に響き渡る歓声が耳に入ると、普段の嫌なことも全て忘れて、応援と観戦に没入してしまいます。

今は観客がたくさん入るベガルタですが、臨場感抜群のフットボール専用スタジアムであるユアスタがなければ、僕も妻も友人も含め、こんなに観戦に足を運んでいなかったのは、間違いありません。

専用スタジアムの作り出す一体感は、サッカーに詳しくない人にこそ驚きや感動を与え、「楽しかったね！また行こう！！」とリピーターにする効果は抜群です(自分の経験から…)。

秋田の新スタジアム計画、課題もあるようですが、ぜひ、進めてください。近い将来、J1のアウェー戦で新スタに行ける日をお待ちしております。

- ・ ユアスタは聖地。

ユアスタでなかったら、ここまでベガルタにはまらなかったと思う。

日常生活ではありえない奇跡や鳥肌の立つような瞬間、心揺さぶられる感動を何度も何度も立ち会ってきた。

ユアスタのおかげで自分の人生は非常に彩り鮮やかなものになっている。

サポーターの繋がりから一生の友人も得られた。

これからもずっと死ぬまでユアスタに通い続けることでしょう。

もはや、人生になくてはならぬもの。

どんなに辛いことがあっても、試合観戦を止めることはなく、むしろ試合があるおかげでいろんなことに耐えられる。

こんなに夢中になれるものがある自分は本当に幸せだと思う。

- ・ 街とサポーターとチームが 1 つになれる場所。そこでしか生まれない、興奮、熱狂、感動が生まれる場所。
- ・ 子どもの頃からの遊び場のひとつ。小学校低学年の頃に完成して、親に試合観戦に連れて行ってもらってから 30 年近く通い続けているので。
- ・ 子供が小さかった頃から通った、昇降格に立ち会った家族の思い出の詰まった場所。スタジアムで知合った友人と楽しむ場所。特に新入団選手達の成長を見守り楽しみにする場所。

来年からの秋春制導入で、雨や雪からのストレスを減らしてくれるユアスタの屋根の存在は大変大きく、集客に影響していると思っています。秋田さんの新スタジアム建設をお祈りしております。

試合後の駅周辺の飲食店はどこも美味しかったのですが、日曜日お休みや予約で一杯のお店が多かったのが少し残念でした。

- ・ 震災のとき、物資の受け回し場所になりました。その時、いつもは憎たらしい山形のサポーターが色々持ってきてくれて本当にありがたかったです。スタジアムって人をつなぐ場所です。
- ・ 人生の一部。嬉しいも悲しいも感動も怒りも様々な感情を心から感じさせてくれた大切な場所。これからも生きる希望としてずっと残り続けて欲しい。心から大好きで大切な存在です。
- ・ 仙台、宮城の誇りとなる存在、市民県民の思いをひとつにしてクラブをともに後押しできる最高の空間です！